政治経済学部カリキュラム【2022年度以降入学者】

科目区分	卒業に必要な単位数	科目
基礎科目	28	**４つの科目群から各４単位以上修得すること** **人文科学科目群**：哲学概論、哲学史、基礎論理学、応用論理学概論、歴史学★、国語表現★、日本文学★、外国文学、言語と文化、留学認定科目（基礎科目・人文） **社会科学科目群**：法学★、地理学★、文化人類学Ａ、文化人類学Ｂ、現代心理学、心理学概論、文化論概論★、異文化理解とコミュニケーション、異文化摩擦とコミュニケーション、国際地域研究基礎論、ジェンダー論Ⅰ、ジェンダー論Ⅱ、留学認定科目（基礎科目・社会） **自然科学科目群**：基礎数学、数学概論、線形代数学Ⅰ、線形代数学Ⅱ、線形代数学Ⅲ、線形代数学Ⅳ、解析学Ⅰ、解析学Ⅱ、科学史Ａ、科学史Ｂ、技術史Ａ、技術史Ｂ、物理科学概論Ａ、物理科学概論Ｂ、環境科学概論Ａ、環境科学概論Ｂ、生命科学概論Ａ、生命科学概論Ｂ、留学認定科目（基礎科目・自然） **総合科目群**：教養演習ⅠＡ、教養演習ⅠＢ、教養演習ⅡＡ、教養演習ⅡＢ、教養演習ⅠＣ☆、教養演習ⅡＣ☆、日本事情Ａ、日本事情Ｂ、日本事情Ｃ、ICT ベーシックⅠ、ICT ベーシックⅡ、ICT エレメンタリー、*ICT ベーシック*、共通総合講座Ⅰ※、共通総合講座Ⅱ※、国際文化特殊講義Ａ、国際文化特殊講義Ｂ、Top School Seminar（International Cultures）Ａ、Top School Seminar（International Cultures）Ｂ、留学認定科目（基礎科目・総合） ◆留学認定科目（基礎科目・人文）の修得単位は、８単位まで卒業に必要な単位数に認定することができる ◆留学認定科目（基礎科目・社会）の修得単位は、８単位まで卒業に必要な単位数に認定することができる ◆留学認定科目（基礎科目・自然）の修得単位は、８単位まで卒業に必要な単位数に認定することができる ※共通総合講座Ⅰ・Ⅱの修得単位は、4単位まで卒業に必要な単位数に含めることができる ◆留学認定科目（基礎科目・総合）の修得単位は、４単位まで卒業に必要な単位数に認定することができる
外国語科目	16	**２言語を選択必修とし、所定の単位（英語は６単位以上、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語および日本語は８単位以上）を修得すること** **英語**：英語Ⅰ、英語Ⅱ、英語Ⅲ、英語Ⅳ、ＡＣＥ Content-based Study、ＡＣＥ General Communication Skills、ＡＣＥ Exam Skills、ＡＣＥ Multimedia Independent Study、ＡＣＥ Presentation Skills、ＡＣＥ Academic Training **ドイツ語**Ⅰ、ドイツ語Ⅱ、ドイツ語Ⅲ、ドイツ語Ⅳ（ドイツ語を選択必修の外国語とする学生は、「ドイツ語Ⅰ」２単位を必修） **フランス語**Ⅰ、フランス語Ⅱ、フランス語Ⅲ、フランス語Ⅳ（フランス語を選択必修の外国語とする学生は、「フランス語Ⅰ」２単位を必修） **中国語**Ⅰ、中国語Ⅱ、中国語Ⅲ、中国語Ⅳ（中国語を選択必修の外国語とする学生は、「中国語Ⅰ」２単位を必修） **スペイン語**Ⅰ、スペイン語Ⅱ、スペイン語Ⅲ、スペイン語Ⅳ（スペイン語を選択必修の外国語とする学生は、「スペイン語Ⅰ」２単位を必修） **日本語（外国人留学生のみ）**：**日本語**Ⅰ、日本語Ⅱ、日本語Ⅲ、日本語Ⅳ（日本語を選択必修の外国語とする留学生は、「日本語Ⅰ」２単位を必修）
学部間共通外国語		※「学部間共通外国語」科目のうち、政治経済学部で設置している言語科目 選択日本語（総合）Ａ、選択日本語（総合）Ｂ、選択日本語（口頭表現）Ａ、選択日本語（口頭表現）Ｂ、選択日本語（文章表現）Ａ、選択日本語（文章表現）Ｂ
健康・運動科学科目	4	**１年次必修２単位**：**運動学演習Ⅰ－１、運動学演習Ⅰ－２** **選択必修２単位**：運動学演習Ⅱ－１、運動学演習Ⅱ－２、生涯スポーツ演習 運動学演習Ⅲ－１、運動学演習Ⅲ－２、運動学演習Ⅳ－１、運動学演習Ⅳ－２、健康・運動科学Ⅰ、健康・運動科学Ⅱ、健康・運動科学Ⅲ
基本科目 ３学科共通基本科目	－	キャリアデザイン総合講座、海外留学演習Ⅰ、海外留学演習Ⅱ 政治学特殊講義Ａ、政治学特殊講義Ｂ、社会学特殊講義Ａ、社会学特殊講義Ｂ、マスコミュニケーション特殊講義Ａ、マスコミュニケーション特殊講義Ｂ、経済学特殊講義Ａ、経済学特殊講義Ｂ、経済政策特殊講義Ａ、経済政策特殊講義Ｂ、地域行政特殊講義Ａ、地域行政特殊講義Ｂ 海外留学演習Ⅲ・海外留学演習Ⅳ、留学準備講座、留学基礎講座 就業力育成総合講座Ａ、就業力育成総合講座Ｂ、就業力育成総合講座Ｃ、就業力育成総合講座Ｄ、就業力育成総合講座Ｅ 留学認定科目（基本科目・３学科共通） **修得単位は、卒業に必要な単位数に含めない科目** **左記の５科目の就業力育成総合講座の修得単位は、２単位まで卒業に必要な単位数に含めることができる。** **◆留学認定科目（基本科目・３学科共通）の修得単位は、4単位まで卒業に必要な単位数に認定することができる。**
基本科目 １・２年次配当	42（所属学科の関係科目）	**政治学科の関係科目**：**１年次必修 10 単位**：**憲法★、政治学基礎、政治理論基礎、政治学・社会学総合講座** **２年次必修４単位**：**政治学原論★** 行政学基礎、行政理論基礎、社会学Ａ、社会学Ｂ、ジャーナリズム論、メディアコミュニケーション論、統計学★、社会科学方法論★、Top School Seminar (Politics)A、Top School Seminar (Politics)B、Top School Seminar (Sociology)A、Top School Seminar (Sociology)B、Top School Seminar (Mass Communication)A、Top School Seminar (Mass Communication)B、留学認定科目（基本科目･政治学科） **経済学科の関係科目**：**１年次必修 14 単位**：**マクロ経済学★、ミクロ経済学★、経済史★、経済学総合講座** **２年次選択必修６単位**：**経済政策、財政学、経済学史、現代経済事情** 経済原論★、統計学★、数量経済分析、日本経済史★、経済思想★、社会思想史★、簿記論★、社会科学方法論★、Top School Seminar (Economics)A、Top School Seminar (Economics)B、Top School Seminar (Economic Policy)A、Top School Seminar (Economic Policy)B、留学認定科目（基本科目・経済学科） **地域行政学科の関係科目**：**１年次必修 12 単位**：**憲法★、政治学基礎、政治理論基礎、マクロ経済学★** **２年次必修８単位**：**行政学基礎、行政理論基礎、地域研究総合講座★** 民法（総則）、民法（物権）、地方自治法、地域研究論、地域分析法、簿記論★、統計学★、社会科学方法論★、Top School Seminar (Local Governance)A、Top School Seminar (Local Governance)B、留学認定科目（基本科目・地域行政学科）
応用科目 ３・４年次配当		**政治学科の学生は、３・４年次配当の基本科目（政治学関係科目）を 12 単位修得** 政治思想史、政治理論史、日本政治史★、西洋政治史★、現代思想、現代政治理論、日本政治思想史、日本政治文化論、メディアリテラシー論、国際コミュニケーション論、マスメディア論、メディアと世論 **経済学科は、３・４年次の選択必修 12 単位の卒業要件はありません** **地域行政学科は、３・４年次の選択必修 12 単位の卒業要件はありません**
応用科目		自治体経営論★、国家論、現代国家分析、国際政治学★、都市政策、都市行政、政治過程論★、政治体制論、政治体制変動論、比較政治論★、比較政治論（東アジア）★、計量政治学、政治行動論、国際関係史★、アジア政治論、アメリカ政治論、ラテンアメリカ政治論、アフリカ政治論、ロシア政治論、東欧政治論、現代社会学Ａ、現代社会学Ｂ、現代社会心理学Ａ、現代社会心理学Ｂ、産業心理学、消費心理学、社会調査法、フィールドワーク論、比較社会学★、民俗学Ａ、民俗学Ｂ、社会人類学Ａ、社会人類学Ｂ、地域開発論、地域振興論、地域情報論、応用数量分析、国際法Ａ、国際法Ｂ、行政法★、Top School Seminar (Politics)C、Top School Seminar (Politics)D、Top School Seminar (Politics)E、Top School Seminar (Politics)F、Top School Seminar (Sociology)C、Top School Seminar (Sociology)D、Top School Seminar (Sociology)E、Top School Seminar (Sociology)F、Top School Seminar (Mass Communication)C、Top School Seminar (Mass Communication)D、Top School Seminar (Mass Communication)E、Top School Seminar (Mass Communication)F、留学認定科目（応用科目･政治学科） 社会経済史、近代経済学史★、国際経済史、現代経済史、社会経済思想史★、近代経済学★、経済統計学★、経済変動論★、計量経済学★、数理経済学★、経済政策原理、国際経済学★、現代日本経済論、産業組織論★、金融論、金融政策、国際金融論★、経済地理学★、地域開発論、地域振興論、地方財政論★、中小企業論★、地域産業論★、人口学★、労働経済学★、社会保障論★、協同組合学★、現代経済政策★、食料経済学★、開発経済学★、国際経済政策★、財政政策★、環境経済学★、租税論、応用数量分析、Top School Seminar (Economics)C、Top School Seminar (Economics)D、Top School Seminar (Economics)E、Top School Seminar (Economics)F、Top School Seminar (Economic Policy)C、Top School Seminar (Economic Policy)D、Top School Seminar (Economic Policy)E、Top School Seminar (Economic Policy)F、留学認定科目（応用科目・経済学科） 地域行政学★、都市政策、都市行政、自治体経営論★、地方財政論★、社会保障論★、行政情報論、公共政策学★、公会計学★、行政法★、社会福祉政策論、コミュニティ福祉論、地域産業論★、中小企業論★、協同組合学★、食料経済学★、労働経済学★、異文化ビジネス論概論、実践異文化ビジネス論、地域政策論Ａ、地域政策論Ｂ、地域政策論Ｃ、地域政策論Ｄ、地域政策論Ｅ、地域政策論Ｆ、地域政策論Ｇ、地域政策論Ｈ、地域政策論Ⅰ、地域政策論Ｊ、環境経済学★、地域情報論、人口学★、経済地理学★、地域開発論、地域振興論、応用数量分析、民法（債権）、民法（家族法）、経済法★、地域創造総合講座★、地域研究インターンシップ、Top School Seminar (Local Governance)C、Top School Seminar (Local Governance)D、Top School Seminar (Local Governance)E、Top School Seminar (Local Governance)F、留学認定科目（応用科目･地域行政学科） **◆各学科の留学認定科目（基本科目）の修得単位は、８単位まで卒業に必要な単位数に認定することができる** **◆各学科の留学認定科目（応用科目）の修得単位は、１４単位まで卒業に必要な単位数に認定することができる**
応用科目 ３学科共通関係科目		日本・アジア文化論Ａ、日本・アジア文化論Ｂ、日本・アジア文化論Ｃ、日本・アジア文化論Ｄ、日本・アジア地域論Ａ、日本・アジア地域論Ｂ、日本・アジア地域論Ｃ、日本・アジア地域論Ｄ、ヨーロッパ文化論Ａ、ヨーロッパ文化論Ｂ、ヨーロッパ文化論Ｃ、ヨーロッパ文化論Ｄ、ヨーロッパ文化論Ｅ、ヨーロッパ地域論Ａ、ヨーロッパ地域論Ｂ、ヨーロッパ地域論Ｃ、ヨーロッパ地域論Ｄ、ヨーロッパ地域論Ｅ、アメリカ文化論Ａ、アメリカ文化論Ｂ、アメリカ文化論Ｃ、アメリカ文化論Ｄ、アメリカ地域論Ａ、アメリカ地域論Ｂ、アメリカ地域論Ｃ、アメリカ地域論Ｄ、連環地域文化論Ａ、連環地域文化論Ｂ、連環地域文化論Ｃ、連環地域文化論Ｄ、身体文化論、スポーツ文化論、表象文化論、留学認定科目（応用科目・３学科共通） **①３学科共通関係科目の修得単位は、12 単位まで各学科の関係科目に含めることができる** **◆②留学認定科目（応用科目・３学科共通）の修得単位は、４単位まで卒業に必要な単位数に認定することができる**
応用科目 専門演習科目	－	専門演習（卒業論文）【４学期間連続履修】
応用科目 原典研究科目	4	●専門演習（卒業論文）履修者：専門演習（外国書研究・原典研究）Ⅰ、専門演習（外国書研究・原典研究）Ⅱ　いずれも専門演習担当教員が指定した授業を履修すること ●専門演習（卒業論文）を履修しない者：原典講読Ⅰ、原典講読Ⅱ
応用科目 原典研究科目	－	原典講読Ⅲ、原典講読Ⅳ
応用科目 総合講座科目	－	応用総合講座Ａ、応用総合講座Ｂ、応用総合講座Ｃ、応用総合講座Ｄ、応用総合講座Ｅ、応用総合講座Ｆ、応用総合講座Ｇ、応用総合講座Ｈ、応用総合講座Ⅰ、応用総合講座Ｊ **総合講座科目の修得単位は、４単位まで卒業に必要な単位数に含めることができる**
応用科目 特殊講義科目	－	政治学特殊講義Ｃ、政治学特殊講義Ｄ、政治学特殊講義Ｅ、政治学特殊講義Ｆ、社会学特殊講義Ｃ、社会学特殊講義Ｄ、社会学特殊講義Ｅ、社会学特殊講義Ｆ、マスコミュニケーション特殊講義Ｃ、マスコミュニケーション特殊講義Ｄ、マスコミュニケーション特殊講義Ｅ、マスコミュニケーション特殊講義Ｆ、経済学特殊講義Ｃ、経済学特殊講義Ｄ、経済学特殊講義Ｅ、経済学特殊講義Ｆ、経済政策特殊講義Ｃ、経済政策特殊講義Ｄ、経済政策特殊講義Ｅ、経済政策特殊講義Ｆ、地域行政特殊講義Ｃ、地域行政特殊講義Ｄ、地域行政特殊講義Ｅ、地域行政特殊講義Ｆ、国際文化特殊講義Ｃ、国際文化特殊講義Ｄ、国際文化特殊講義Ｅ、国際文化特殊講義Ｆ、Top School Seminar（International Cultures）Ｃ、Top School Seminar（International Cultures）Ｄ、Top School Seminar（International Cultures）Ｅ、Top School Seminar（International Cultures）Ｆ、留学認定科目（応用科目・特殊講義） **◆留学認定科目（応用科目・特殊講義）の修得単位は、４単位まで卒業に必要な単位に認定することができる**
応用科目 情報科目	－	ICT 統計解析Ⅰ、ICT 統計解析Ⅱ、ICT データベースⅠ、ICT データベースⅡ、ICT メディア編集Ⅰ、ICT メディア編集Ⅱ、ICT アプリ開発Ⅰ、ICT アプリ開発Ⅱ、ICT コンテンツデザインⅠ、ICT コンテンツデザインⅡ、ICT 総合実践Ⅰ、ICT 総合実践Ⅱ、*ICT 統計解析入門、ICT 統計解析応用、ICT データベース入門、ICT データベース応用、ICT 画像編集入門、ICT 画像編集応用、ICT 動画編集入門、ICT 動画編集応用、ICT 音楽編集入門、ICT 音楽編集応用、ICT プログラミング入門、ICT プログラミング応用、ICTWeb ページ作成、ICTe ラーニングデザイン入門、ICTe ラーニングデザイン応用、ICT プレゼンテーション*
応用科目 資格課程科目	－	日本史概論、東洋史概論、西洋史概論、地誌学概論、人文地理学概論、自然地理学概論、法律学概論、倫理学概論 **修得単位は、８単位まで卒業に必要な単位数に含めることができる。**
応用科目 グローバル人材を育成する全学部共通科目	－	グローバル人材育成プログラム科目 **左記の科目および他学部履修科目を含め、20 単位まで卒業に必要な単位数に含めることができる**
卒業に必要な単位に含めない		実習科目（社会実習） 大学院政治経済学研究科設置科目、専門職大学院会計専門職研究科設置科目
合計 124 単位修得		**①専門演習履修者は、4年次に通年で最低4単位以上を修得しなければならない。ただし、4年次の大学間および学部間の協定校･認定校への留学プログラムまたはそれに該当すると教授会が認めたプログラムの参加者は、この要件を適用しない。** **②専門演習を履修しない者（コース登録者）は、在学最終学期に最低４単位以上を修得しなければならない。ただし、在学最終学期の大学間および学部間の協定校･認定校への留学プログラムまたはそれに該当すると教授会が認めたプログラムの参加者は、この要件を適用しない。** **③上記①の４年次および②在学最終学期における単位修得の要件には、外国語検定試験による単位認定制度を利用した認定単位は含めない。**

(1) 表中の卒業に必要な単位数【基礎科目 28 単位、外国語科目 16 単位、健康・運動科学科目４単位、基本・応用科目 42 単位、原典研究科目４単位】を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位数に含める。
(2) 専門演習を履修しない者、および未修得者は、別に定めるコース指定の科目を 20 単位以上修得しなければならない。
(3) 表中の網掛けは、卒業要件に関する説明文章なので、特に注意すること。
(4) 斜体の科目は、2025 年度入学者のみ履修が可能である。なお、2024 年度以前の入学者は履修することができない。

★は半期集中科目、☆は通年科目